

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公開番号】特開2001-251668(P2001-251668A)

【公開日】平成13年9月14日(2001.9.14)

【出願番号】特願2000-57647(P2000-57647)

【国際特許分類】

H 04 Q	7/38	(2006.01)
H 04 J	3/00	(2006.01)
H 04 M	1/725	(2006.01)
H 04 M	11/00	(2006.01)
H 04 B	7/26	(2006.01)
H 04 Q	7/36	(2006.01)
H 04 L	12/28	(2006.01)
H 04 L	29/06	(2006.01)
H 04 L	29/08	(2006.01)

【F I】

H 04 B	7/26	1 0 9 D
H 04 J	3/00	H
H 04 M	1/725	
H 04 M	11/00	3 0 2
H 04 B	7/26	Q
H 04 B	7/26	1 0 5 D
H 04 L	12/28	3 0 0 M
H 04 L	13/00	3 0 5 C
H 04 L	13/00	3 0 7 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】 前記通信速度変更手段が、通話に使用するチャネル数を変更することによって前記通信速度を変化させることを特徴とする請求項3乃至請求項5のいずれか1項に記載のコードレス電話端末。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】 前記通信速度変更ステップが、通話に使用するチャネル数を変更することによって前記通信速度を変化させることを特徴とする請求項9乃至請求項11のいずれか1項に記載のコードレス電話端末の通信制御方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

**【補正の内容】**

【請求項 1 3】 音声信号として入力された入力信号を、互いに異なる方式によって符号化復号化する複数の音声符号化復号化手段を有し、通信速度が可変なコードレス電話端末の通信制御方法を、コンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

相手先端末と通信可能な通信速度を検出する速度検出工程と、

前記検出した通信速度に応じて、前記複数の音声符号化復号化手段のいずれかを選択して前記入力信号を供給する制御工程とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

**【手続補正 4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明の別の要旨は、音声信号として入力された入力信号を、互いに異なる方式によって符号化復号化する複数の音声符号化復号化手段を有し、通信速度が可変なコードレス電話端末の通信制御方法を、コンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、相手先端末と通信可能な通信速度を検出する速度検出工程と、検出した通信速度に応じて、複数の音声符号化復号化手段のいずれかを選択して入力信号を供給する制御工程とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に存する。